

JISA版 NTCプロジェクト 第2期 カリキュラム

JISA 人材委員会

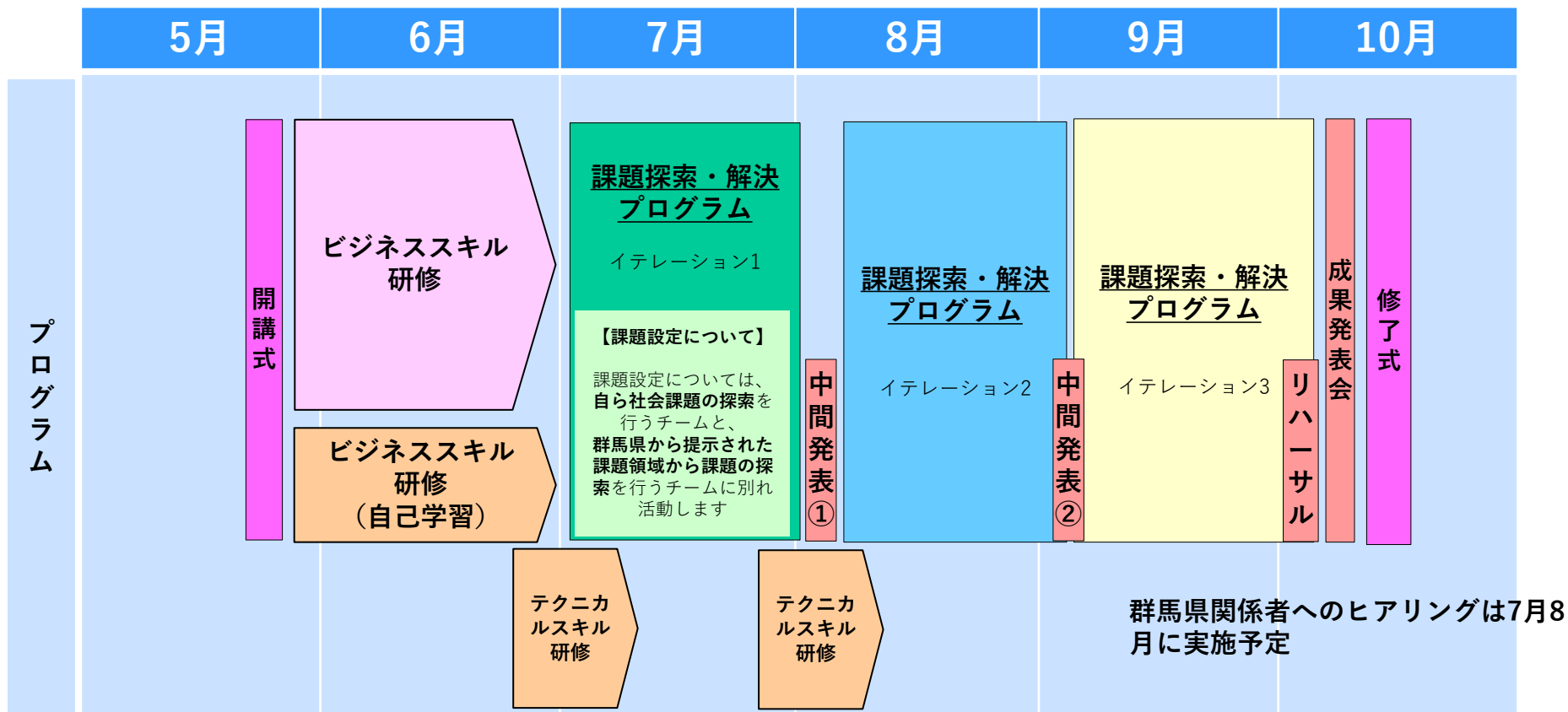


JISA版 NTCプロジェクト 概要



トップクラスのITエンジニアが互いに切磋琢磨しながら、6ヶ月程度の期間設定の上、社会課題の実践的解決プロジェクトの遂行を通じて、人材力を高度化するトレーニングプログラム。

ビジネススキルとして、戦略・マネジメントやマーケティングの知識、データやAIを活用するビジネスモデルの設計などを体験的に学習します。群馬県をフィールドとし、データやAIを活用した地域創生事業を起こすための課題の探索や解決、事業計画の策定に挑戦します。



プログラム詳細 ビジネススキル研修（6月）



トップエンジニアに必要なとなるビジネススキルを習得します。課題の探索や解決に必要な知識と手法を学び、トレーニングを通じて体験的に身に付けてもらいます。実地研修の概略の疑似体験を通じて、課題探索と課題解決の手順を自ら組み立て実践できるよう備えます。講師は、芝浦工業大学 平田 貞代先生となります。

回	月/日	時間	場所	イベント	主な内容	提出物	デジタルスキル標準分類
1	5月31日 (水)	15:00 ～ 18:00	JISA 会議室	ゲスト講演 オリエンテーション 講義 演習 受講者懇談会	群馬県関係者 NTC研修のゴールとマイルストンの確認 ビジネス調査、ビジネスモデル調査 REASASやオープンデータを用いた群馬課題探索		ビジネスモデル
2	6月1日 (木)	15:00 ～ 18:00	JISA 会議室	ゲスト講演 プレゼンテーションとディベート 講義 演習	アジャイル 演習の成果の共有と評価 変革マネジメント、プロジェクトマネジメント アジャイルによる群馬課題探索およびビジネス調査	群馬課題探索結果	ビジネスモデルモデル 戦略・マネジメント
3	6月5日 (月)	15:00 ～ 18:00	Zoom	プレゼンテーションとディベート 講義 演習	演習の成果の共有と評価 顧客・ユーザー理解、価値発見・定義 データ収集方法(インタビュー,現場観察,ビジネスマナー) 課題の絞り込みと課題の取り組み方の検討	群馬課題探索に基づくビジネス調査結果	戦略・マネジメント デザイン
4	6月12日 (月)	15:00 ～ 18:00	Zoom	プレゼンテーションとディベート 講義 演習	演習の成果の共有と評価 データ・AI活用事業の設計と実装計画,セキュリティ 技術経営(技術戦略,イノベーション,生産管理,知財管理) 経営層インタビューと分析	現地実習のテーマの選択と活動計画	デザイン データ・AIの戦略的活用
5	6月19日 (月)	15:00 ～ 18:00	Zoom	プレゼンテーションとディベート 講義 演習	演習の成果の共有と評価 マーケティング 事業計画書策定(市場調査、ビジネスモデル、等) 事業計画書案の検討、作成	ICTを利活用する事業提案	データ・AIの戦略的活用 ビジネスモデル
6	6月23日 (金)	15:00 ～ 18:00	JISA 会議室	プレゼンテーションとディベート 講義 演習 メンターOB懇談会	演習の成果の共有と評価 事業評価方法(StageGate法、検証方法、等) 自治体ビジネス/地域イノベーションの特性 事業計画書案の実行計画	事業計画書案 県庁インタビュー概要	ビジネスモデル 戦略・マネジメント

トップエンジニアに必要となるビジネススキルを自己学習で補完します。7月以降の課題探索・解決プログラムに役立つe-ラーニング（2講座）とRESAS動画視聴を6月中に自己学習いただきます。

【1】プレゼンテーション力醸成講座（e-ラーニング）相手に伝わる！プレゼンの極意

プレゼンテーションには、プレゼンス、シナリオ、デリバリーの3要素があります。本コースでは、相手に内容を正しく伝え、テーマを理解させるプレゼンテーションの基本技術について学習し、伝えるスキルの向上を実現します。またプレゼンテーションの事前準備（シナリオ、資料作成、リハーサル）のポイントについても学習します。

【2】事業計画策定講座（e-ラーニング）成功するビジネスプラン

「ビジネスプラン」とは、事業を展開していくにあたっての航海図にあたり、事業の推進者が作成する事業計画書といえます。ビジネスプランは、既存事業のビジネスモデルを再構築したり、新事業の立ち上げを目指したりする時、事業をシミュレーションするために必要となります。巨額な資金を必要とする事業運営に、行き当たりばったりの姿勢で臨むことは許されず、不測の事態に備えリスクを最小限に抑えるためにも様々なシミュレーションが不可欠です。また、起業家にとっては、これから始めようとする事業の資金調達を行う際に投資家や金融機関に対するプレゼンテーションの内容となります。本講座では、企業経営者や起業家のみならず、事業を創造する若手担当者にとっても必要不可欠なビジネスプランについて、その概要と作成方法をわかりやすく解説します。

【3】地域活性化に向けたデータの利活用（RESAS）※（総務省YouTube動画を視聴）

地域情報を可視化するWebアプリケーションの「地域経済分析システム（RESAS：リーサス）」について、開発背景、オープンデータやビッグデータとの関係、RESASの普及の取り組みについて学びます。また、RESASの人口マップ、産業構造マップ、観光マップ、まち作りマップ、地方財政マップを用いて操作方法と出力の見方を確認します。

（参考サイト 総務省：https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/resas_setsumeidouga.html）

プログラム詳細 テクニカルスキル研修(6月下旬、7月下旬)



課題探索・解決プログラムの解決に必要なITスキル（デジタルスキル）の習得をオンライン研修で補完します。近年国際的に注目されているデータサイエンス、AIなどの先端デジタル技術を習得していただきます。講師は東京工業大学の先生方となり、東工大大学院レベルの講義を提供します。

- 第1回 6月26日（月） 18:00～19:30 データ分析の基礎（統計学） 樺島 祥介教授
- 第2回 6月28日（水） 18:00～19:30 分類とモデル評価 樺島 祥介教授
- 第3回 7月3日（月） 18:00～19:30 クラスタリング 関嶋 政和准教授
- 第4回 7月31日（月） 18:00～19:30 主成分分析 関嶋 政和准教授
- 第5回 8月2日（水） 18:00～19:30 次元圧縮 金森 敬文教授
- 第6回 8月7日（月） 18:00～19:30 アンサンブル学習 金森 敬文教授

また、7月以降、**JISA ICTカレッジの講座**を受講できるようにします。どの講座を受講するかは、課題探索・解決プログラムにおいて取り組む課題が決まった後に、皆さんに選択してもらいます。コース受講のサポートは事務局でおこないます。

【JISA ICTカレッジ】

当業界で働くITエンジニアを、既存のICT技術に加えCAMBRIC他の先端デジタル技術の活用能力を習得し、社会や顧客の課題解決プロジェクトを推進実行する「デジタル人材」とすべく人材力の高度化を図ることを目的としている。

<https://www.jisa.or.jp/Portals/0/resource/seminar/ictpro/2023a/index.html>

プログラム詳細 課題探索・解決プログラム（7月～9月）



【実習の目的】 ビジネススキル研修を応用し、課題の探索や改善に必要な洞察力、企画力、交渉力等を鍛える。

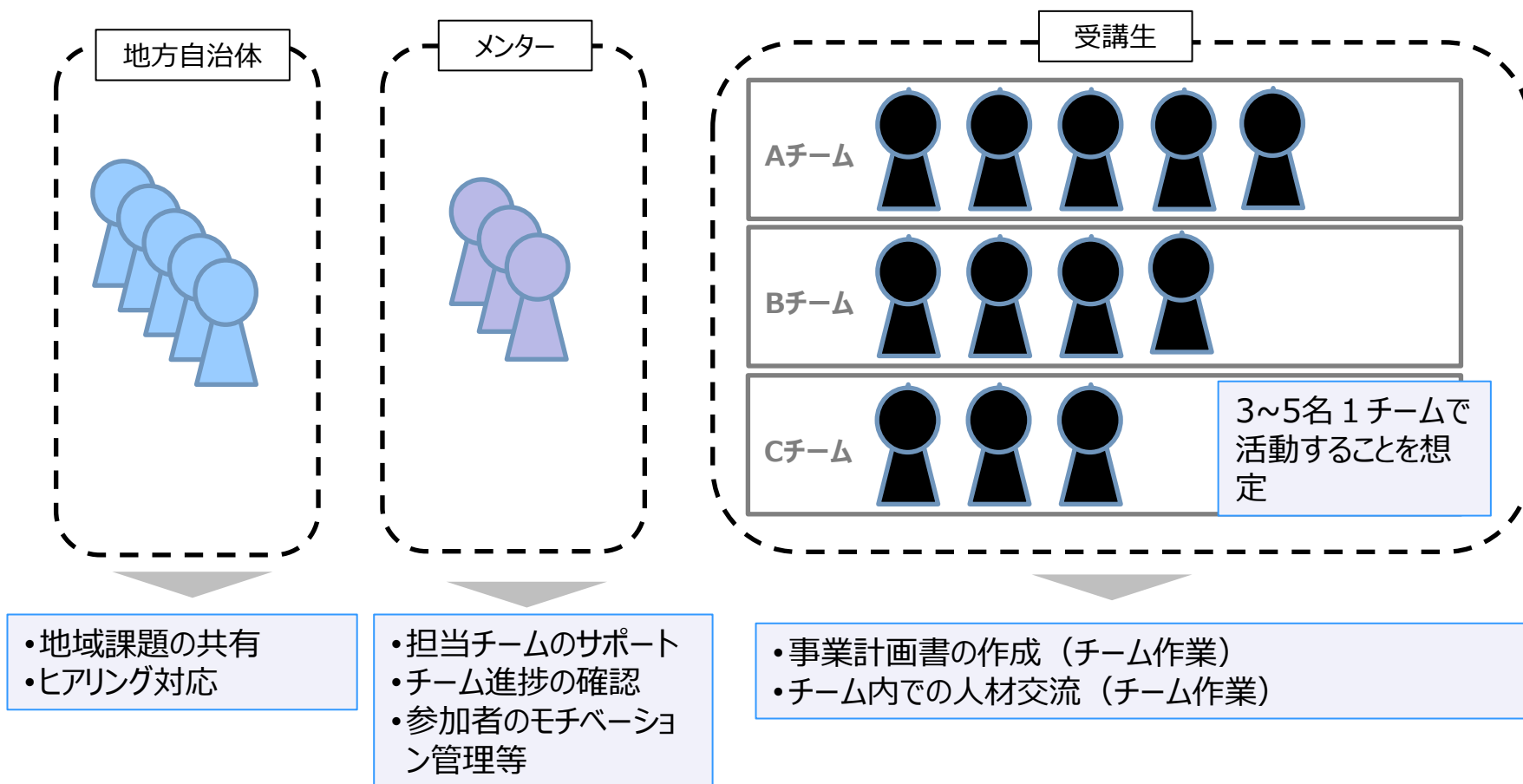
【達成目標】 潜在的な課題やその発生構造を捉え、状況を改善するために、情報サービスをいかに地域に価値を提供する新事業案を構築できる。

【実習後のゴール】 自社の情報サービス技術をいかに、地域に価値を提供する新ビジネスを創造し、遂行する。

	週	月/日	時間	場所	イベント	主な内容	提出物
イ テ レ ー シ ョ ン 1	1	7/5	pm	群馬	キックオフ 県庁内でのご挨拶とヒアリング グループ活動の計画	・オリエンテーション ・関心ある幾つかの課題に関する情報収集	・ヒアリング記録 ・活動計画書
	2	7/10～	自由	自由	グループワーク1	・フィールドワーク(現場観察、体験、インタビュー)、アンケート、オープンデータ調査、等によるデータ収集 ・収集したデータに基く、社会課題や要因の発見や因果関係等の探索 ・中間発表1の準備	・収集したデータ ・事業計画書案1 ・発表ファイル1
	3	7/17～					
	4	7/24～					
		7/26	15:00～ 17:00	JISA会議室	中間発表1	・チーム間意見交換 ・各メンターによるアドバイス ・多面的な視点に基づく、課題の妥当性の確認	
イ テ レ ー シ ョ ン 2	5	8/7～	自由	自由	グループワーク2	・グループワーク1に基づく、計画の軌道修正、データや調査の補足、社会課題や要因の再探索 ・社会課題の分析に基づく解決方法の検討 ・プロトタイプ、モックアップ、シミュレーション等の制作 ・中間発表2の準備	・収集したデータ ・制作物 ・事業計画書案2 ・発表ファイル2
	6	8/14～					
	7	8/21～					
	8	8/28～					
		8/30	15:00～ 17:00	JISA会議室	中間発表2	・チーム間意見交換 ・各メンターによるアドバイス ・多面的な視点に基づく、課題の妥当性の確認	
イ テ レ ー シ ョ ン 3	10	9/4～	自由	自由	グループワーク3	・グループワーク2に基づく、事業計画書の作成 ・社会課題の分析に基づく解決方法の検討 ・プロトタイプ、モックアップ、シミュレーション等の改良 ・最終発表の準備	・制作物 ・事業計画書案 ・最終発表ファイル
	11	9/11～					
	12	9/18～					
	13	9/25～					
		10/x		オンライン	最終発表リハーサル	・成果やその伝え方についての精度や信頼性の向上	
		10/x		群馬	最終発表、講評	・社会課題や要因 解決案の提示	

課題探索・解決プログラムの構成メンバについて

参加者を3~5名のチームに分け、それぞれのチームがメンターのサポートの下で活動をおこないます。チームで地域課題の探索をおこない、その解決案を検討し、チーム内で議論をとりまとめ地域課題解決策を事業計画書に取りまとめます。



インプット

群馬県の課題を自ら探索

群馬県は、知事の強力なイニシアティブのもと、3年間で日本最先端クラスのデジタル県となることを目標とし、そのために様々な事象に取り組むことを、ぐんまDX加速化プログラムにまとめ、対外公表している。そういった資料から、群馬県における社会課題を定義して活動する。

or

群馬県から提示された課題領域

群馬県が取り組んでほしいと考えている課題領域から課題の深堀をおこなう。



課題



グループでの議論



ビジネスモデルの作成



群馬県関係者へのヒアリング

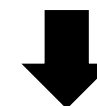


フィールドワーク

すべての活動は、メンターがサポートします。ヒアリングからビジネスモデルの作成までを3回繰り返します



※必要に応じてPoCも実施



課題の設定

アウトプット

地域課題解決案を事業計画書として発表

プログラム	日程	講師・他	実施形態
開講式	5月31日(水) 14:00~15:00	福永 人材委員会委員長	J I S A会議室
ビジネススキル研修	第1回 5月31日(水) 15:00~18:00 第2回 6月1日(木) 15:00~18:00 第3回 6月5日(月) 15:00~18:00 第4回 6月12日(月) 15:00~18:00 第5回 6月19日(月) 15:00~18:00 第6回 6月23日(金) 15:00~18:00	【講師】 芝浦工業大学 平田先生	第1回、第2回、6回 JISA会議室 第3回~5回 オンライン ※1回目は開講式終了後実施します
テクニカルスキル研修	第1回 6月26日(月) 18:00~19:30 第2回 6月28日(水) 18:00~19:30 第3回 7月3日(月) 18:00~19:30 第4回 7月31日(月) 18:00~19:30 第5回 8月2日(水) 18:00~19:30 第6回 8月7日(月) 18:00~19:30 ※別途、オンデマンド配信でAIの講義を2コマ(6月~10月までの間で視聴可能)	【講師】 東京工業大学 教授陣	オンライン
ビジネススキル研修(自主学習)	6月中に受講 【1】プレゼンテーション力醸成講座 【2】事業計画策定講座 【3】RESASに関する自己学習	【1】【2】 富士通ラーニングメディア 【3】は総務省のサイトにて自己学習	Eラーニング
テクニカルスキル研修(自由選択)	7月下旬以降 課題探索テーマ次第で適宜必要な研修を受講可能	富士通ラーニングメディア	Eラーニング
課題探索・解決プログラム キックオフ	7月5日(水)		NETSUGEN/群馬 午後
課題探索・解決プログラム イテレーション1	7月中 メンバー内で調整して活動		
課題探索・解決プログラム 中間発表1	7月26日(水) 15時~17時		JISA会議室
課題探索・解決プログラム イテレーション2	8月中 メンバー内で調整して活動		
課題探索・解決プログラム 中間発表2	8月30日(水) 15時~17時		JISA会議室
課題探索・解決プログラム イテレーション3	9月中 メンバー内で調整して活動		
課題探索・解決プログラム 最終発表リハ	9月末で開催		オンライン
課題探索・解決プログラム 最終発表	10月上旬に開催		NETSUGEN/群馬 午後
修了式	10月中旬		オフライン

課題探索・解決プログラムのキックオフ、最終発表リハーサル、最終発表の日程は決まり次第ご案内します。

プログラム詳細（想定時間）



イベント	サブワーク	回数・週	時間	総時間
開講式		1	2	2
ビジネススキル研修	講義・演習	6	3	18
ビジネススキル研修（eラーニング）	講義	3	3	9
テクニカルスキル研修（東工大講義）	講義	6	1.5	9
課題探索・解決プログラム（イテレーション1）	グループワーク	4	10	40
	中間発表	1	3	3
課題探索・解決プログラム（イテレーション2）	グループワーク	4	10	40
	中間発表	1	3	3
課題探索・解決プログラム（イテレーション3）	グループワーク	4	10	40
	最終発表リハーサル	1	3	3
テクニカルスキル研修（eラーニング）	講義	1	8	8
成果発表会		1	4	4
修了式		1	4	4
				183

想定している研修時間はこちらの通りです。課題探索解決プログラムの進捗状況や取り組み状況によっては、これ以上の時間がかかることがあります。

参 考 資 料

1. 教育・地域政策チーム

人の目ではとらえきれない情報を使った**保育の質の向上**と、**温泉観光地の回遊性と稼働率を高める**ための温泉サブスクの仕組み構築。

2. こどもチーム

児童虐待の予防に関する取り組み。子供を授かったご夫婦に向けて子育て知識をつけてもらう研修を実施する。しつげがエスカレートして気付かぬ間に虐待に至ってしまうようなケースを防ぎたい。

3. 観光チーム

ぐんまPayの提案 自治体Pay × 観光地周遊（お題コンプリートでボーナスポイント）で群馬県内の経済を循環させる。

4. 文化・魅力発信チーム

メタバースを利用して、群馬県の魅力を発信、創出する。
課題テーマは、クリエイティブ拠点の構築と歴史文化振興と
している。

5. 農業（こども食堂）チーム

「こどもの幸福度」向上。SDGsの目標の一つである**「貧困をなくそう」**を群馬県で実現する。



当日の発表動画

<https://youtu.be/ozIFg7o1Vhk>